

高等部だより

# だいち

根をはって  
限りなく広がる大地に  
ワン

2017.3.1 (水) 第14号  
福島県立会津養護学校高等部  
TEL 0242-32-2242

文責 高等部



## 高等部卒業式 3/3 間近!

♪ 『君の夢が一つ、叶おうとしているね  
熱い思い重ねて たどり着いた場所  
ここまでの道のりが 長く厳しかったこと  
たくましくなった君の背中が 教えてくれる』



これは、卒業生の歌「時を 越えて」の一節です。  
遠く霊峰飯豊の山々、秀峰磐梯の頂・・・見上げれば白き雪の輝きを  
みせ、凜とした早春の澄んだ空気をほほに感じます。そしてここに今、  
卒業を間近にして式の練習に集中する3年生たちの姿があります。

『3年生28名は今・・・』 友と歩いた登下校の道々、卒業作品制作の一筆一筆、思い出深い校舎の隅々、  
励ましてくれた先生方の声、支えてくれた家族の顔・顔・顔。一人一人それぞれの思いを巡らせて、どのよう  
な感慨でいるのでしょうか。生徒のその表情は、日に日に引き締まってきているように見えるのは、私だけで  
はないでしょう。

そして今日、来る卒業式の3月3日まで、あと3日となりました。

### △卒業式当日の日程△

通常登校	～8:30
朝のHR・準備	8:30
廊下整列	9:20
式開始(入場)	9:30
式終了(退場)	10:30
写真撮影	10:40
最後のHR	10:50
見送り	11:30～
在校生下校	通常日課

延期・・・だったけど それだけ「心を込めた送る会」の様子  
2月21日(火) 先輩!ご卒業 おめでとうございま～す!



司会の生徒



2年生からのバンカラ応援エールやひげダンス・恋ダンス



卒業生からあいさつや歌のプレゼント

1年生からのダンスや歌のパフォーマンス

1年生からの卒業生へプレゼント

## サービス班1. 2年生 3年生を招待!



作業学習サービス班では、得意とする喫茶サービスの技術で3年生に感謝の気持ちを表し、楽しい時間を過ごしてもらおうと企画・招待しました。  
この時間は、他にも恋ダンス・本能寺の変ダンス、歌（結）や応援のことばなどでめでなし、楽しい時間を過ごしていただきました。

## 個別懇談はいかがでしたか?

保護者の皆様、個別懇談では、生徒さんの学習評価や学校生活、進路状況、お困りの事等々、今年のまとめと来年度への目標や課題について話し合えましたか。

何か疑問や不安、相談があれば、ご遠慮なく「いつでも」「どのような事でも」お話し頂ければと思います。皆様と一緒に解決の糸口を見つけだしていきたいと考えます。

生徒達は、保護者の皆様と学校が、真にしっかり手を組み合せて育てていくものと考えます。今後ともよろしくお願ひします。

## 生徒会新役員任命式

生徒会長 佐藤洋平君（2年）  
副会長 根本晃成君（2年）  
室井春奈さん（1年）  
書記 岩佐美夕さん（2年）  
斎藤 颯 君（1年）  
神田校長より任命証をいただきました。先輩から引き継いだ生徒会活動に一生懸命取り組み、自分たちの学校をさらに盛り上げてください。



## 第61回福島県書き初め展結果

学部全体で23名の応募がありました。その結果は、次のとおりです。

特選4編 金賞8編 銀賞11編。なお、「温故知新」「白鳥の湖」の題で特選をいただきました。各書は教室や廊下等に掲示してありますので、生徒一人一人の「らしさ」のあふれた筆運びをご覧ください。

## 漢字検定の合格者決まる!

1月13日（金）に本校を会場として「日本漢字能力検定試験（漢検）」を実施し、その結果が報告されました。10級から3級の試験に、生徒の受験者38名が挑戦し、25名が合格しました。家庭学習はもちろん、授業の合間を活用したり、放課後教師と一緒に居残り勉強したりして頑張った結果が、66%の合格率になりました。今回、高卒・大学・一般程度のレベルといわれ、全ての常用漢字が対象の「2級」の合格者が初めて出ました。本当にすばらしいことです。拍手!!!

残念な結果の生徒もおりますが、この取り組みが、生徒の知的好奇心を揺さぶり、新たな成長に結びつくことを一層期待しています。合格者数は次のとおりです。〔10級0名、9級2名、8級2名、7級6名、6級4名、5級4名、4級1名 3級5名、2級1名〕 なお、中学部生徒も受験し、2名が合格しました。おめでとう!

## 「時を越えて」～今年の卒業生28名が歌いあげる式歌です!～

「時を越えて」この歌は、2008年に作られた混成3部の合唱曲です（作詞・作曲 榎野知子）。いろいろな歌手に歌われている卒業歌です。今年の卒業生たちが、何曲かの候補曲を何度も聴いて話し合って決めたそうです。その歌詞の一旦を紹介しましょう。なかなか深く味わいのある歌詞です。

「君の夢が一つ叶おうとしている・・・」から歌い始めます。生徒たちの夢はどんな夢だったのだろうと、私は今更ながら思いを巡らします。このフレーズの最後には、「道のりが長く厳しかったこと たくましくなった君の背中が教えてくれる」とあります。生徒たちの式場入場の背中にそのたくましさのストーリーが読み取れそうです。

歌詞の終盤には、「あの日の喜びと あの日の悔しさを つまずいたときはそっと思い出してみよう」と歌います。成功もあれば失敗もあるのが人生です。山あり谷あり。そして、「精一杯力を出したあの瞬間がある」と続きます。その精一杯の瞬間が大事だ!と叫びたくなります。この気持ちを、生徒達は「君が生きていく力に変わる、生きていく誇りに変わる時が来るから」と歌いあげます。

最後には、「精一杯の汗と涙 流した数だけきっと 君が生きていく強さに変わる時が来るから」「時を越えて羽ばたいて」と歌は結びます。生徒達は今、心に何を想い何を刻み込んで羽ばたくのでしょうか。今年は、この曲を卒業生が自分たちの感性でフルコーラスを歌いあげます。専門的な合唱とは多少違ってもかもしれませんが、生徒一人一人の感性の豊かさや想いに触れ、新たな一歩を見届けていただければと思います。やはり「卒業」は新しい「スタート」なのですね。さあ・・・「時を越えて」進もう! (T.Y)